

業務放送システム システムコントローラー 取扱説明書

品番 WL-K500

この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、
正しくお使いください。そのあと保存し、必要な
ときにお読みください。

保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入
を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

保証書別添付



もくじ

商品概要	2
付属品をご確認ください	2
安全上のご注意	2
使用上のお願い	4
お手入れのしかた	4

各部の名前と働き	5
システム全体	5
システムコントローラー	6
増設用操作ユニット	7
マイクドア内部	8
業務放送のしかた	9
優先順位について	9
システムコントローラーからの放送	10
緊急放送のしかた	11
本体からの放送	11
緊急外部制御入力による自動放送	11
自動点検について	12
総合点検	14
蓄電池の点検	15

故障と思われましたら	15
保証とアフターサービス	裏表紙

このたびは、システムコントローラー(業務放送システム)をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

商品概要

本機は、中規模から大規模建築物に対応する業務放送システムのシステムコントローラーです。
本機は、システムコントローラーと入出力制御ユニットから構成されています。
業務放送や緊急放送などの使用や、パソコンによる管理、セキュリティ監視システムとの連動などもできます。
: 停電、ガス漏れ事故などの緊急事態に備え、業務放送より優先して行う放送をいいます。ただし、緊急放送用の工事を
する必要があります。

付属品をご確認ください


ラックマウント用リブ付きネジ(M5×12).....	8	工事説明書(設置工事編).....	1
DATA BUSケーブル(24P).....	1	工事説明書(書き込み編).....	1
POWER CONTケーブル(9P).....	1	取扱説明書(本書).....	1
表示カード(業務選択用).....	3	保証書(システムコントローラー、入出力制御ユニット)..	各1
束線バンド(大)(小).....	各1		
マイクロホン.....	1		


安全上のご注意

必ずお守りください



お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。


表示内容を無視して誤った使い方をしたとき生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

  この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警告

工事は販売店に 依頼する



工事には技術と経験
が必要です。火災、
感電、けが、器物損
壊の原因となります。

必ず販売店に依頼してくださ
い。

異物を入れない



禁 止

水や金属が内部には
いると、火災や感電
の原因となります。

ただちに電源制御ユニットのブ
レーカーまたは分電盤の電源を
切り、販売店にご連絡ください。

分解しない、 改造しない



分解禁止

火災や感電の原因と
なります。

修理や点検は、販売店にご依
頼ください。

異常があるときは、 すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがす
るなど、そのまま使
用すると火災の原因
となります。

ただちに電源制御ユニットのブ
レーカーまたは分電盤の電源を
切り、販売店にご連絡ください。

⚠ 注意

通風孔をふさがない



禁 止

内部に熱がこもり、
火災の原因となりま
す。

使用上のお願い

- ・非常電源ユニットを組み込んだシステムは、常に蓄電池を充電しています。分電盤などのスイッチを切ると蓄電池の充電が中断され、停電時に放送できなくなる恐れがあります。
- ・ニッケル・カドミウム蓄電池は停電放送されなくても寿命があります。点検の際、容量不足があったときは全数新品と交換してください。
- ・交換したニッケル・カドミウム蓄電池の取り扱いにご注意ください。ご使用済みのニッケル・カドミウム蓄電池は貴重な資源です。再利用しますので廃棄しないで、ニッケル・カドミウム蓄電池のリサイクルにご協力ください。

注意

蓄電池の交換は、販売店
が保守契約店に依頼する



感電の原因となります。



Ni-Cd

お手入れのしかた

- ・ケースが汚れたときは乾いた布でふいてください。ほこりが取れにくいときは水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で洗剤成分を完全にふき取ってください。
- ・ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと、変質したり塗料がはげることがありますので避けてください。
- ・化学ぞうきんをご使用の際はその注意書きに従ってください。

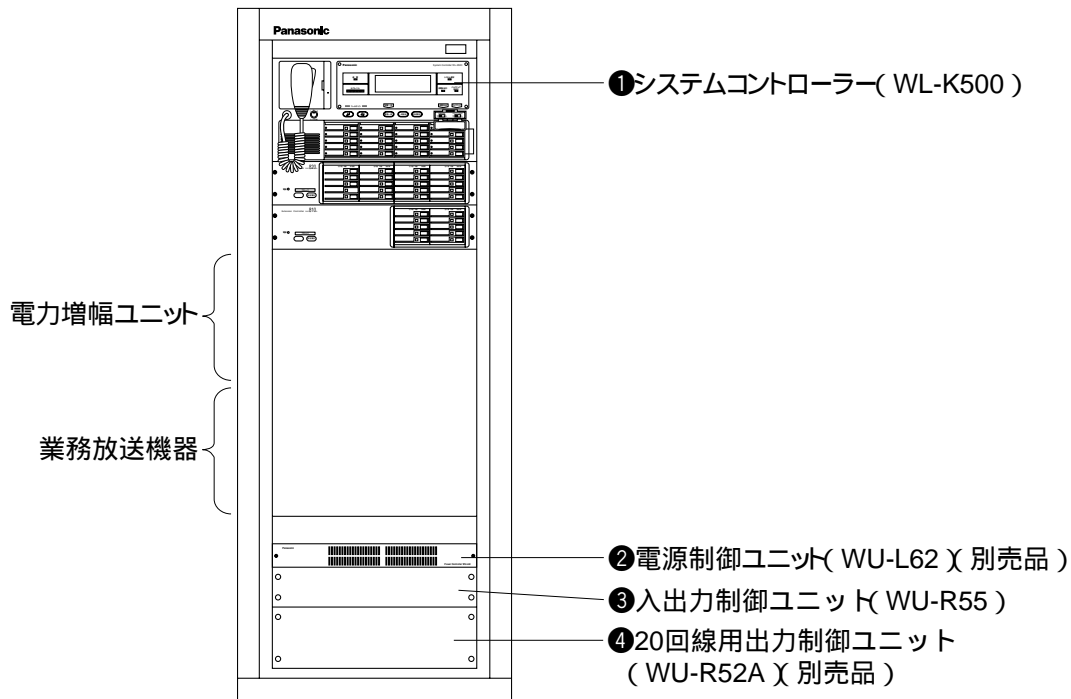
お願い

- ・操作部にふれると緊急放送などが放送される場合があります。お手入れをする際、操作部にふれないようにするか適切な状況のもとで行ってください。
- ・内部の清掃や点検は販売店にご相談ください。

各部の名前と働き

システム全体

本機をラック（スタンダードラック）に収納した状態です。



- ① システムコントローラー
全館一斉、緊急放送もできます。
- ② 電源制御ユニット(WU-L62)
システムコントローラー①、入出力制御ユニット③、20回線用出力制御ユニット④、電力増幅ユニット、非常電源ユニット、一般リモコン、10回線用出力制御ユニットに電源を供給・制御するためのユニットです。
- ③ 入出力制御ユニット(WU-R55)
リモコンやその他の周辺機器を接続するためのユニットです。
- ④ 20回線用出力制御ユニット(WU-R52A)
スピーカー回線の接続、制御用のユニットです。

各部の名前と働き

システムコントローラー

⑤ モニタースピーカー
 放送状態を確認できます。
 ハウリング防止のため、マイクスイッチを押すとモニタースピーカーの音が小さくなります。

⑥ マイクドア
 開くと内部にスイッチがあります。(☞ 8ページ参照)

⑦ マイクロホン

- ・マイクを外し、スイッチを押しながら放送します。
- ・業務放送中に非常放送が入った場合、マイクでの放送は遮断され非常放送が優先されます。(非常用放送設備と接続している場合)

増設用操作ユニット
 (別売品)
 増設用操作ユニット
 (別売品)

スイッチを押す



⑧ モニター音量つまみ [モニタ音量]
 モニタースピーカー⑤の音量を3段階に調整します。

⑨ 電源表示(緑色) [通電]
 電源が供給されているときに点灯します。

⑩ 出力レベルメータ [出力レベル]
 システムコントローラーからの音量出力レベルを表示します。

⑪ 液晶パネル
 業務放送時の動作状態、異常発生時の内容などを表示します。

⑫ システム異常表示(赤) [システム異常]
 システムに何らかの異常が発生したときに点灯します。この表示が点灯しているときは、販売店にご連絡ください。

業務放送中	放送名
◆本体	動作状態
蓄電池異常 機器異常 回線短絡	異常表示

⑬ バックアップ放送中表示(橙) [バックアップ放送中]
 バックアップ放送スイッチを「入」にすると点灯します。本機のマイクから全館一斉放送が可能になります。また一般リモコンをバックアップ放送が可能な接続にすると、一般リモコンから全館一斉放送が可能になります。

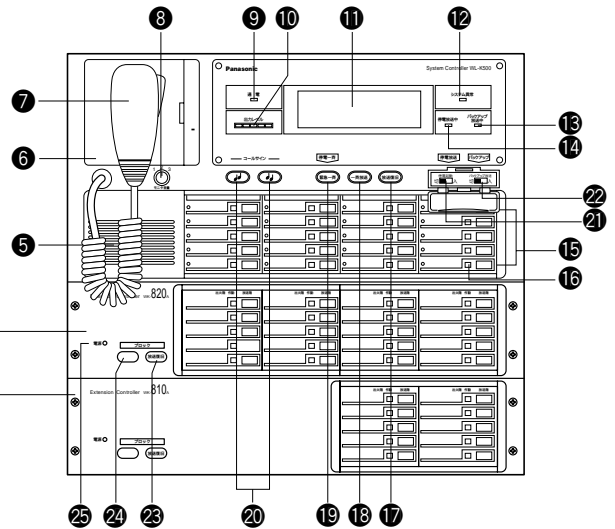
⑭ 停電放送中表示(橙) [停電放送中]
 非常電源ユニットを使い、停電放送をしているときに点灯します。
 AC100V通電中は停電放送スイッチを「入」にしても点灯しません。

⑮ 放送選択スイッチ
 放送したいブロック(部屋、エリア)を選択するときに押します(作動表示点灯)。再度押すと選択を解除します。(作動表示消灯)
 本機マイクでの放送は、マイク放送選択に設定されたブロックのみ可能になります。
 設定によってスイッチの機能を切り換えて使用できます。工場出荷時はマイク放送スイッチに設定されています。

マイク放送スイッチ：本機のマイクで放送するとき、放送するエリアを選択します。
 業務選択スイッチ：接続されている機器で放送するとき、放送するエリアを選択します。

メモ

マイク放送スイッチに設定されたブロックのみ一斉放送スイッチ、緊急一斉放送スイッチが有効になります。



⑩作動表示(緑色) [作動]

- ・ 放送選択スイッチ⑮、一斉放送スイッチ⑯、緊急一斉放送スイッチ⑰を押すと点灯します。
- ・ 入力マトリクスを使用している場合は、入力1で放送しているときのみ点灯します。(マイク放送選択時)
- ・ スピーカー回線が短絡すると、短絡したブロックの作動表示が点滅します。このようなときは、販売店または保守契約店にご連絡ください。

⑪放送復旧スイッチ [放送復旧]

放送が終了したら押します。放送選択スイッチ⑮で選択した放送ブロックがすべて解除されます。



⑫一斉放送スイッチ [一斉放送]

一斉放送するときに押します。スピーカのアッテネータ(音量調整器)が「OFF」のときは放送できません。

⑬緊急一斉放送スイッチ [緊急一斉]

- ・ 一斉放送するときに押します。スピーカのアッテネータ(音量調整器)が「OFF」でも放送できます。(ただし、3線式配線の場合に限ります。)
- ・ 緊急放送のため、放送選択スイッチなどの他の放送はすべて中断します。また、非常電源ユニットを接続しているときは停電一斉放送ができます。

⑭コールサインスイッチ

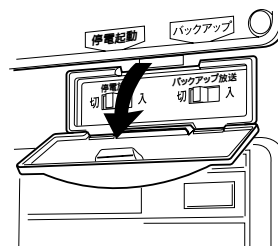
放送選択スイッチ⑮で放送する場所を選んだ後にこのスイッチを押すとコールサインが放送されます。放送の前後に押してください。( : 上り4音、  : 下り4音)

⑮停電起動スイッチ [停電起動]

手動で停電放送を行うときに「入」にします。ただし、AC100V通電時は動作しません。

⑯バックアップ放送スイッチ [バックアップ放送]

システム異常時に放送する必要があるとき「入」にします。「入」にするとバックアップ放送中表示⑰が点灯し、本機マイクで全館一斉放送を行うことができます。



背面については「工事説明書(設置工事編)」で説明しています。

増設用操作ユニット

⑰ブロック放送復旧スイッチ [ブロック 放送復旧]

該当する増設ユニット(10局または20局)の放送選択スイッチを復旧するときに押します。

⑱ブロッケー斉放送スイッチ [ブロッケー斉放送]

該当するマイク放送スイッチの増設ユニット(10局または20局)に、一斉に放送するとき押します。
2001年11月生産以降(製造番号AJ0001以降)のシステムコントローラーに接続した場合に使用できません。

メモ

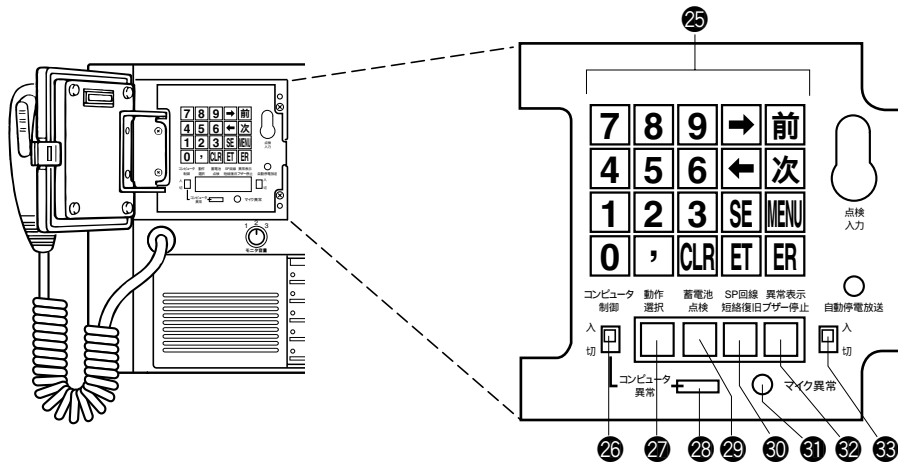
増設用業務操作ユニットとして使用する場合は、ブロッケー斉放送スイッチは操作できません。
(このスイッチはありません。)

⑲電源表示

通電状態で点灯します。

各部の名前と働き

マイクドア内部



㉕書き込みスイッチ

優先順位設定、入出力設定などの書き込みを行うスイッチです。
詳細については、「工事説明書(書き込み編)」で説明しています。

㉖コンピュータ制御スイッチ [入/切]

- ・通常は、必ず「入」にしてください。
- ・異常が発見され修理した後、このスイッチを「切」にしてから「入」にすると、正常の動作に戻ります。

㉗動作選択スイッチ [動作選択]

押すたびに「通常動作」「点検」「書き込み」と切り換わります。ただし、緊急放送中は切り換えできません。

通常動作：通常はこの状態にします

点 検：総合点検を行う場合はこの状態にします(14ページ参照)

書き込み：書き込みを行う場合はこの状態にします

㉘コンピュータ異常表示(赤色)

コンピュータ異常時、点灯します。

㉙蓄電池点検スイッチ [蓄電池点検]

蓄電池の手動点検用スイッチです。スイッチを押したときに異常があると、ブザーが鳴るとともに液晶パネル⑪に「蓄電池異常」と表示されます。(15ページ参照)

㉚SP回線短絡復旧スイッチ [SP回線短絡復旧]

スピーカー回線短絡を復旧させるスイッチです。短絡原因を取り除かないとスイッチを押しても復旧しません。修理は販売店に依頼してください。

㉛マイク異常表示 [マイク異常]

マイクロホンが接続されていない場合などに点灯します。

㉜異常表示ブザー停止スイッチ [異常表示ブザー停止]

このスイッチを押すと異常表示時に鳴るブザー音が停止します。

㉝自動停電放送スイッチ [自動停電放送 入/切]

停電したときに自動的に放送を継続するとき「入」にします。このスイッチを使うには非常電源ユニット(別売品)が必要です。非常電源ユニットが接続されていないとこのスイッチを「入」にしても停電時に放送をすることはできません。なお、このスイッチはAC100Vが通電されている状態で操作してください。

業務放送のしかた

優先順位について

案内やBGMなどの業務放送は次のように放送の優先順位を設定することができます。そのため優先放送中は、優先順位の低い放送は放送されません。

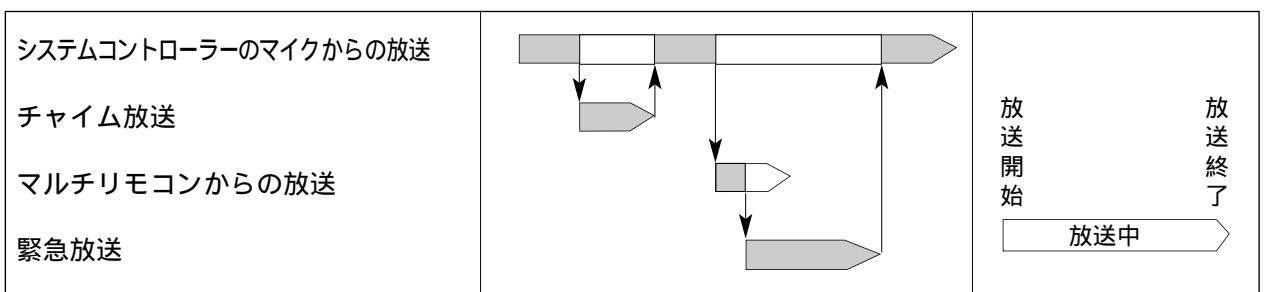
- ・優先順位は第1位から第8位まで設定でき、上位の放送が優先されます。
- ・優先順位が同じものは、後から押したスイッチの放送が優先されます。(後押し優先方式)
- ・出荷時は、すべての起動入力を第4位に設定しています。
- ・拡張制御ユニット(WK-890)使用時は、以下のようになります。
 - 拡張一般リモコンとして使用する場合：一般リモコンと同順位になります
 - 拡張外部制御入力として使用する場合：すべての入力が外部制御入力1と同順位になります

[優先順位記入表]

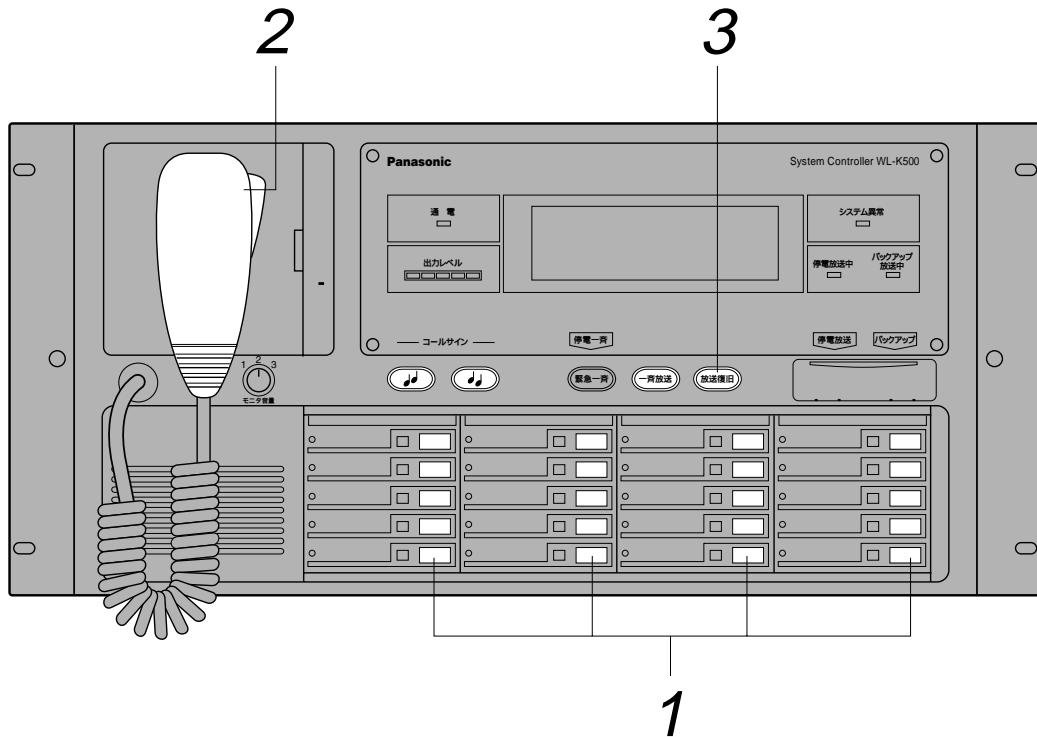
起動入力	用途	優先順位							
		1	2	3	4	5	6	7	8
システムコントローラー									
マルチリモコン	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
一般リモコン									
チャイム									

起動入力	用途	優先順位							
		1	2	3	4	5	6	7	8
外部制御入力	1								
	2								
	3								
	4								
	5								
	6								
	7								
	8								
	9								
	10								
	11								
	12								
	13								
	14								
	15								

[放送例] の部分がスピーカーから放送されています。



システムコントローラーからの放送



1 放送選択スイッチを押す
全館一斉に放送するとき、一斉放送スイッチを押します。

[液晶表示パネル]

業務放送中
本体

↑
本体からの
放送

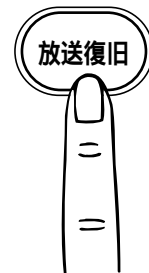
2 マイクのスイッチを押し、放送する
放送場所を追加するとき、その放送選択スイッチを押します。



放送の前後にコールサインスイッチを押してください。



3 放送が終わったら、放送復旧スイッチを押す
個別に復旧するとき、それぞれの放送選択スイッチを押します。



メモ

- 業務放送中に非常放送が入った場合は、すべての業務放送は遮断され非常放送が優先されます。(非常放送設備と接続している場合)
- マイク放送スイッチに登録されていないブロック(部屋、エリア)は、一斉放送スイッチ、緊急一斉放送スイッチを押しても放送できません。

緊急放送のしかた

停電、ガス漏れ事故などの緊急事態に備え、本機より優先して緊急放送をすることができます。

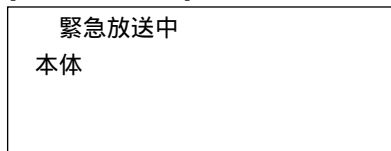
メモ

- 緊急放送をする場合は、あらかじめ緊急放送用の工事をしておく必要があります。詳しくは「設置工事編」をお読みください。
- 緊急放送を行っているときは、業務放送は停止します。

本体からの放送

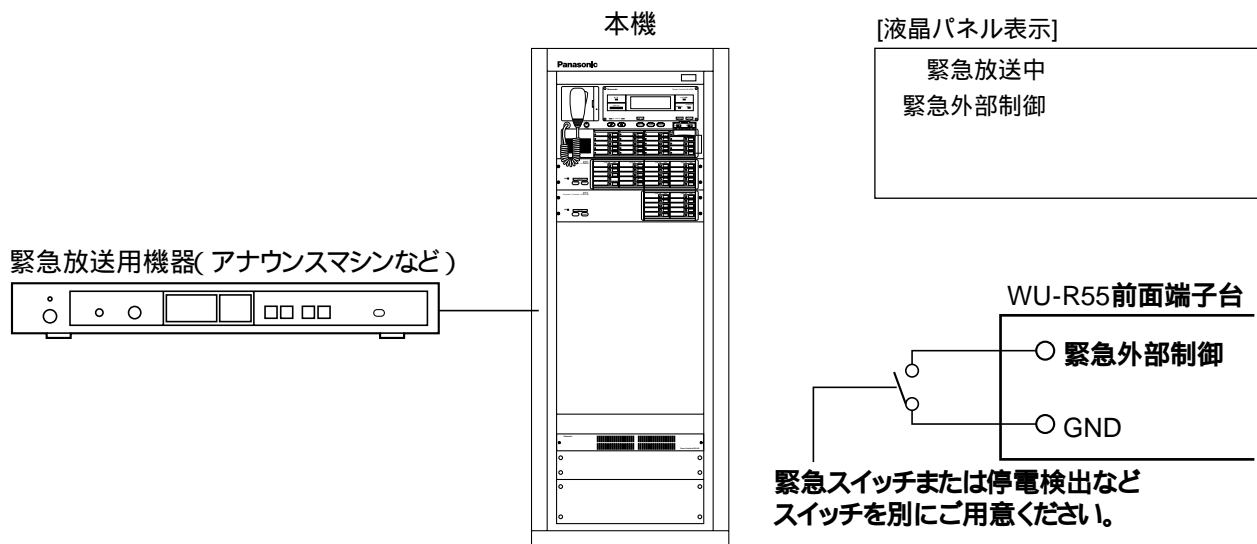
システムコントローラーの緊急一斉スイッチを押すことによりシステムコントローラーのマイクロホンで放送できます。

[液晶パネル表示]



緊急外部制御入力による自動放送




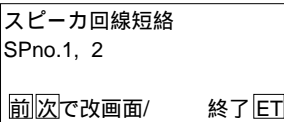
- 緊急外部制御入力に外部信号を入力することにより放送を行うことができます。
- 本機のマイクで放送することもできます。



自動点検について

本機には、コンピュータによる自動点検機能が付いており、蓄電池異常・機器異常・スピーカー回線短絡の点検を行います。

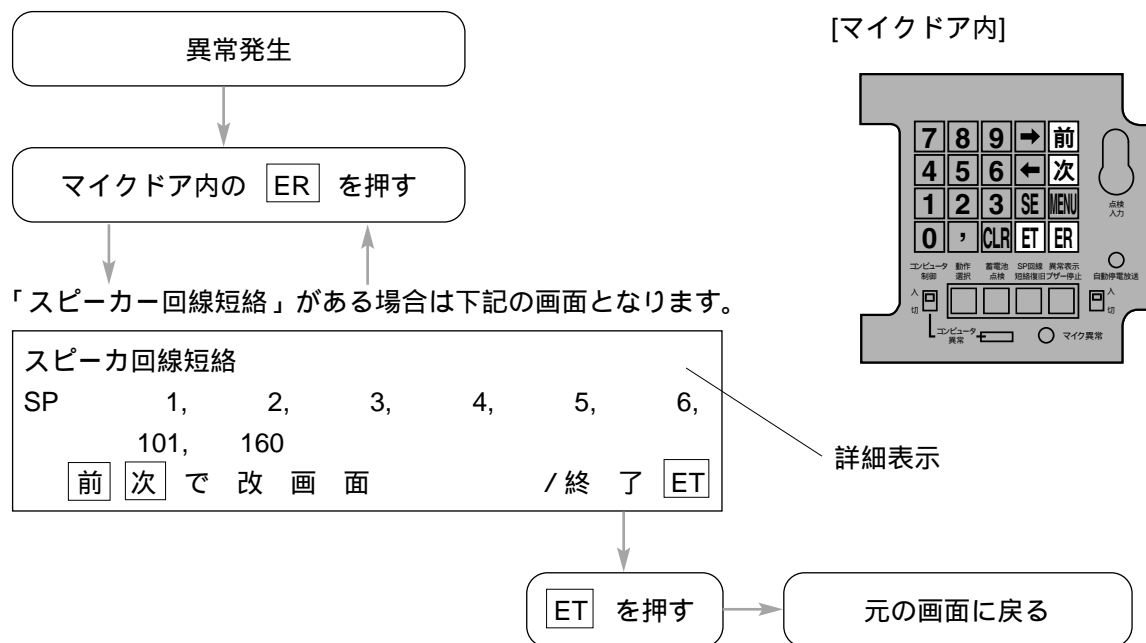
異常が発生したときは販売店にご連絡ください。

点検項目	点検内容	点検方法 (コンピュータが自動的にいきます)	異常検出時の表示 / ブザー音
蓄電池異常	非常電源ユニット(WP-570B)内の蓄電池が正常電圧であるかどうかを判定します。	24時間おきに自動的に点検します。	 <ul style="list-style-type: none"> ・ブザー音(ピー)が鳴ります。
機器異常	ラックなどに収納されている他の機器で異常が発生していないかを確認します。	常時、自動的に点検します。	<ul style="list-style-type: none"> ・液晶パネル表示  <ul style="list-style-type: none"> ・ブザー音(ピー)は鳴りません。
スピーカー回線短絡	スピーカー回線の短絡を点検します。	短絡状態のスピーカー回線で放送を行おうとしたときに検出します。	<ul style="list-style-type: none"> ・液晶パネル表示   <ul style="list-style-type: none"> ・異常詳細表示は、次ページをご覧ください。 ・ブザー音(ピー)は鳴りません。 ・該当する選択スイッチの作動表示が点滅します。

ブザー音(ピー)は、マイクポケット内の異常表示ブザー停止スイッチを押すと止まります。

異常詳細表示

「スピーカー回線短絡」は、以下の操作で詳しい内容を確認することができます。



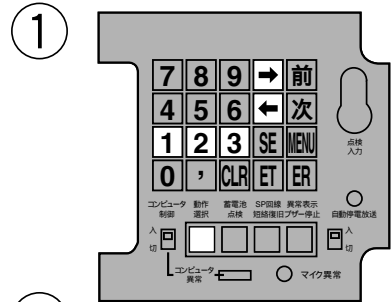
メモ

システム異常表示が点灯している場合は、コンピュータ制御スイッチが「入」になっているか、バックアップ放送スイッチが「切」になっているか確認してください。それでも復旧しない場合は販売店にご連絡ください。

総合点検

緊急放送、業務放送の各放送モードが正しく動作するかどうかを総合的に点検します。

- ①システムコントローラーのマイクドアを開け、動作選択スイッチを押し機器の状態を「点検モード」にします。
(状態は、「通常動作」「点検」「書き込み」の順に切り換わります。)



- ②ETキーを押し、点検モードにします。
 SP回線OFF：スピーカーからの出力をカットするため外部に点検時の音は聞こえません。液晶パネルやモニタースピーカーで確認します。
 緊急放送ブレイクOFF：
 ローカルアンプの放送を中断せずに点検を行います。
 SP回線OFF・緊急放送ブレイクOFF：
 外部に点検時の音は出力しませんが、ローカルアンプの放送は中断せずに点検できます。

②

点検モード

1.SP回線OFF 2.緊急放送ブレイクOFF
 3.SP回線OFF・緊急放送ブレイクOFF

で選択 /確定 **ET**

- ③実際に点検する放送モードにして点検を行います。放送モードの切り換えは以下のとおりです。
 緊急放送： 緊急外部制御端子とコモン間をメイクします。
 業務放送： いずれかの放送選択スイッチまたは緊急一斉放送スイッチ、一斉放送スイッチを押します。

③

業務放送中	点検モード
-------	-------

↑

点検する放送モードを表示します。

蓄電池の点検

お使いになる非常電源ユニットの取扱説明書をお読みの上、操作してください。
ここでは、緊急放送用として非常電源ユニット（WP-570B）を接続した場合を例に説明します。

お願い

- 蓄電池は停電放送を行なわなくても消耗します（寿命があります）。
点検の際、容量不足があれば全数新品と交換してください。ただし、蓄電池の交換は危険ですので、必ず販売店にご依頼ください。

電源の点検

①主電源表示が点灯している。（AC電源の確認）

②点検スイッチを押す。

充電中表示1、2が消え、非常電源表示が緑色または
橙色に点灯している。（蓄電池電圧の確認）

メモ

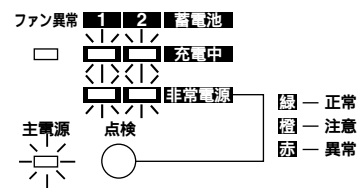
- 点検スイッチは10秒以上押さないでください。
- 点検スイッチを押すと、充電中表示1、2が消灯します。
- ファンが故障で停止すると内部温度が異常に高くなることがあります。内部温度が異常に高くなっているときに点検スイッチを押しても「充電中表示」は消えません。ファンを点検・修理後、内部温度が低くなってから再度操作してください。なお、点検・修理は販売店にご依頼ください。

③充電中表示が点灯している。

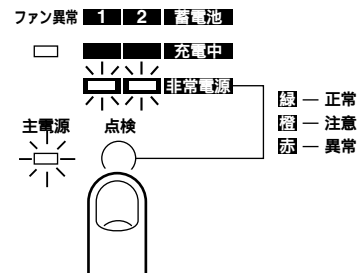
メモ

蓄電池を1個しか使用していない場合は、充電中表示は1灯しか点灯しません。これは蓄電池を接続していないためで異常状態ではありません。
異常状態と間違えないよう、あらかじめ販売店に蓄電池の数を確かめてください。

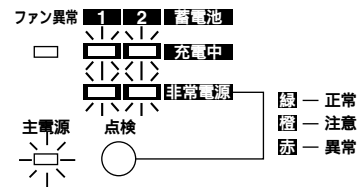
①



②



③



故障と思われましたら

動作不良と思われた場合、すみやかに販売店にご連絡ください。その際、異常が発生した前後の状況と次の項目について教えてください。

- WL-K500マイクドア内のコンピュータ異常表示が点灯していますか？
- 液晶パネルに「蓄電池異常」と表示されていますか？
- 液晶パネルに「機器異常」と表示されていますか？
- 液晶パネルに「回線短絡」と表示されていますか？
- WL-K500マイクドア内のマイク異常表示が点灯していますか？
- システム異常表示が点灯していますか？

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

保証書(別添付)

必ず、お買い上げの販売店からお買い上げ日・販売店名などの記入をお確かめのうえ受け取り、よくお読みのあと保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

補修用性能部品の保有期間

当社は、このシステムコントローラーの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

(注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

まず電源を切ってから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理させていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる商品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

便利メモ(おぼえのため、記入されると便利です。)

お買い上げ日	年 月 日
品 番	WL-K500
販 売 店 名	
	☎() -

松下電器産業株式会社

松下通信工業株式会社 AVマルチメディアビジネスユニット

〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600 ☎(045)932-1231(大代表)

N0399-2101 A8QA5155CN